

分解カード [くるくる] を作ろう！

算数工房 小田

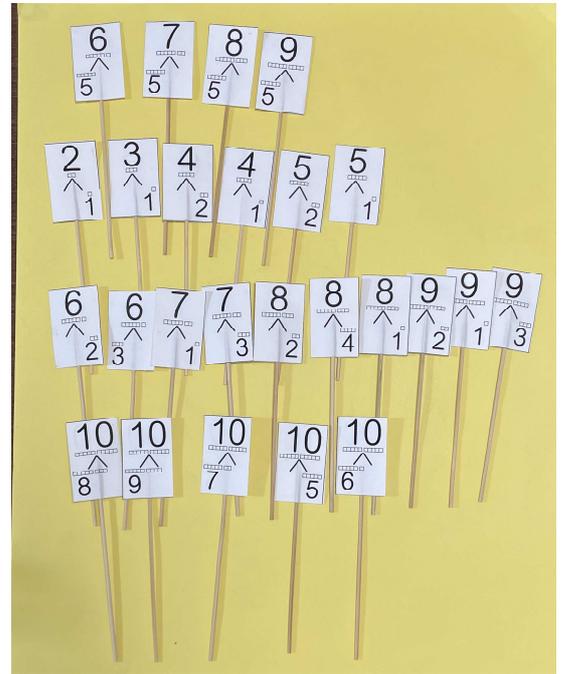
教具ができるまで

10までの数の分解カードを作ってみた。型紙3枚と串25本で作ることができる。が、少し作業が大変かもしれない。

分解された2つの数字（例えば7なら4と3）を表裏に配置したカードを作った。これではありきた



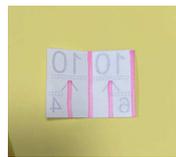
裏返すと



りでおもしろくないなあと考えていたところ、残像現象を利用した（表に鳥、裏にカゴを描いたカードをくるくる回すと鳥がカゴの中に入っているように見えるおもちゃ）が思い浮かんだ。ソーマトロープというらしい。カードを竹串に貼り付け、指で串をくるくる回してみた。カゴの鳥ほどの驚きはないけど、分解された2つの数字が見えた。

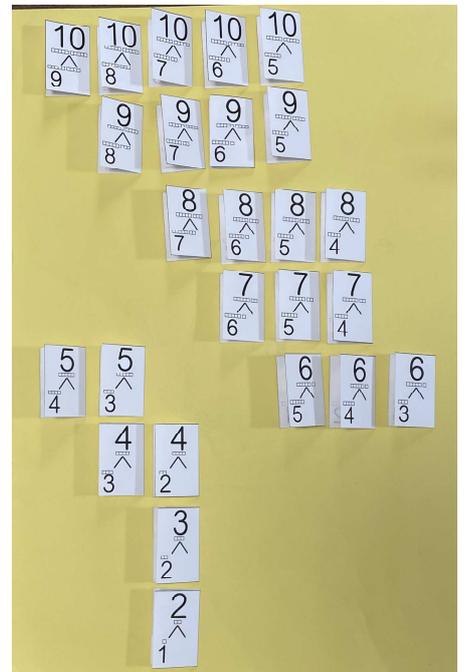
作り方

- ①型紙を3枚印刷する。
- ②それぞれを切り離す。25枚のカードができる。
(2枚は予備)
- ③串の先をハサミで切る。(安全性)
(百均には尖っていないものがありそう)
- ④カードを二つ折りにする。
- ⑤赤印の部分に木工ボンドを塗る。



串を真ん中に乗せてカードを貼り合わせる。

(出来上がり)



※とりあえず、分解カードくるくる と名付けた。

$\begin{array}{c} 10 \\ \hline \wedge \\ \hline 9 \end{array}$	$\begin{array}{c} 10 \\ \hline \wedge \\ \hline 1 \end{array}$	$\begin{array}{c} 10 \\ \hline \wedge \\ \hline 8 \end{array}$	$\begin{array}{c} 10 \\ \hline \wedge \\ \hline 2 \end{array}$	$\begin{array}{c} 10 \\ \hline \wedge \\ \hline 7 \end{array}$	$\begin{array}{c} 10 \\ \hline \wedge \\ \hline 3 \end{array}$
$\begin{array}{c} 10 \\ \hline \wedge \\ \hline 6 \end{array}$	$\begin{array}{c} 10 \\ \hline \wedge \\ \hline 4 \end{array}$	$\begin{array}{c} 10 \\ \hline \wedge \\ \hline 5 \end{array}$	$\begin{array}{c} 10 \\ \hline \wedge \\ \hline 5 \end{array}$	$\begin{array}{c} 9 \\ \hline \wedge \\ \hline 8 \end{array}$	$\begin{array}{c} 9 \\ \hline \wedge \\ \hline 1 \end{array}$
$\begin{array}{c} 9 \\ \hline \wedge \\ \hline 7 \end{array}$	$\begin{array}{c} 9 \\ \hline \wedge \\ \hline 2 \end{array}$	$\begin{array}{c} 9 \\ \hline \wedge \\ \hline 6 \end{array}$	$\begin{array}{c} 9 \\ \hline \wedge \\ \hline 3 \end{array}$	$\begin{array}{c} 9 \\ \hline \wedge \\ \hline 5 \end{array}$	$\begin{array}{c} 9 \\ \hline \wedge \\ \hline 4 \end{array}$

 $8 = 7 + 1$	 $8 = 6 + 2$	 $8 = 5 + 3$	 $8 = 4 + 4$	 $8 = 3 + 5$	 $8 = 2 + 6$
 $7 = 4 + 3$	 $7 = 6 + 1$	 $7 = 5 + 2$	 $7 = 4 + 3$	 $7 = 3 + 4$	 $7 = 2 + 5$
 $7 = 4 + 3$	 $7 = 6 + 1$	 $7 = 5 + 2$	 $7 = 4 + 3$	 $7 = 3 + 4$	 $7 = 2 + 5$
